

# 二子玉川南地区堤防沿川まちづくり懇談会

## ニュースレター 第2号 2009.02.24

発行：国土交通省京浜河川事務所 世田谷区

### 計画高水位までの堤防整備に伴う二子玉川南地区のまちづくりについて、第2回の懇談会を開催しました。

- 平成21年2月13日(金)に玉川町会会館にて、南地区の応募者のうち参加者20名、座長・副座長、京浜河川事務所及び世田谷区から10名が参加し、第2回目の懇談会を開催しました。
- 今回の懇談会では、第1回目の懇談会で参加者の皆さんに出していただいた堤防整備に伴うまちづくりについての意見・考えを整理して、より具体的な提案が出されました。

#### 懇談会全体のながれ

【第1回】1月23日

- 皆さんが持っているまちづくりについての意見・考えを出しあい、グループごとに整理しました。

【第2回】2月13日

- グループで整理した意見や提案を具体化しました。

【第3回】次回

- 各グループから出された意見や提案を懇談会全体の提案として、とりまとめます。

### 第2回懇談会の概要

懇談会は以下のプログラムで進行しました。

#### 1. 事務局による説明

- ・ 懇談会事務局より、第1回の懇談会で出された意見の概要と、とりまとめ結果を説明しました。また現在行っている低水護岸の工事状況について説明を行いました。

#### 2. 座長による挨拶

- ・ 「安全・安心・快適なまちづくりというキーワードに沿って皆さんの意見をまとめていただきたい。」との挨拶がありました。

#### 3. グループ作業

- ・ 第1回と同様に3つのグループで、第1回で出された意見の集計結果をもとに、右の4つのテーマについて意見交換しました。

※第1回および第2回懇談会資料はホームページでご覧頂けます。

- ・ テーマごとに整備の一例や平面図を準備し、それをもとにグループで具体的な整備案を討論して頂きました。

第1回提示イメージ



意見を踏まえ事務局より提示した整備案の一例  
(堤防天端に草を生やす案・川側を散策路とする案)

#### 4. 結果発表

- ・ グループ作業で具体化した意見や提案をグループの進行役が発表しました。

#### 5. まとめ

- ・ 座長・副座長より各グループで具体化した意見について総括して頂きました。



二子玉川東地区市街地再開発組合 撮影

工事状況写真(平成20年12月中旬撮影)

2/28(土)に現場見学会を開催します。

第1回 10:00~10:30

第2回 11:00~11:30

#### 【検討テーマ】

- ① 堤防のまち側の整備(土手や天端)
- ② 公共空地の整備
- ③ 樹木の移植・植樹
- ④ 水辺空間へのアプローチ



グループ作業の様子



座長・副座長による総括

## ～グループごとの検討結果～

グループ作業の中で具体化された提案の一部を紹介します。

### A 班の主な意見

#### ■グループ内でまとまった意見

- ・堤防の住宅地側の植栽スペースを歩道にする。
- ・堤防の植樹に伴う防犯面に配慮する。
- ・道路幅は現状のまま(違法駐車、通過交通が心配)、歩行者の安全のために歩道を確保する。
- ・公共空地には桜並木をつくる。
- ・公共空地に貯水槽など防災施設を設ける。
- ・堤防整備に伴う樹木の除却の代替として、高水敷に可能な限り樹木を植える。
- ・高水敷へ人を誘導するような動線にする(堤防天端から家の中をのぞかれにくくするため)。
- ・スロープは二子玉川駅からの動線を考慮した位置とする。

### B 班の主な意見

#### ■グループ内でまとまった意見

- ・天端の車両は制限する。
- ・可能であれば道路幅を広げる。嵩上げする。
- ・歩道を整備し、安全を確保する。
- ・公共空地は盛土せずに道路と同じくらいの高さにする。
- ・公共空地は堤防沿いに植樹(桜など)で木陰をつくる。
- ・移植できる樹木は可能な限り移植する。
- ・川側を通るような動線を考慮する。

#### ■議論の余地が残った、相反する意見

- ・天端は歩きにくくする。⇔花火大会などを考慮して歩けるようにする。
- ・バリアフリーのスロープにする⇔アクセスはいらない。

### C 班の主な意見

#### ■グループ内でまとまった意見

- ・堤防住宅地側の土手は場所に応じて処理をする。
- ・人が天端を歩かないように工夫をする。(看板、植樹、高水敷に誘導するような整備。)
- ・住宅地側の道路には、子どもの安全を考え、歩道を整備する。
- ・公共空地には防火水槽、調整池などを設ける。
- ・公共空地は散歩や運動ができるような空間にする。
- ・公共空地は若者や地区外の人が集まらない空間にする。

#### ■議論の余地が残った、相反する意見

- ・緊急車両の通行を考慮し、道路幅を広げる。
- ⇔違法駐車や通り抜けの増加が心配される。



作業用図面などをつかった進行役による発表の様子  
(左上:A班、右上:B班、  
左下:C班)

## ■ 座長・副座長から懇談会の内容を総括して頂きました。

### ◎座長(武蔵工業大学・村上教授)

- ・各班に共通していた意見は安全に関することや、天端上の人々の通行を避けたいという意見だった。
- ・緑を残したいという意見、歩道を整備して欲しいという意見は多く、良い意見だと思う。

### ◎副座長(武蔵工業大学・吉田教授)

- ・すべての案にメリット・デメリットがあるが、一つの案に決めないとモノはできない。
- ・堤防整備後、メンテナンスや維持ができるような体制をつくるとよいと思う。

## ■ 次回の予定 各グループから出された意見や提案を懇談会全体の提案としてとりまとめる予定です。

◆このニュースレターと第1回、第2回で使用した資料は以下のホームページからもご覧いただけます◆

【国土交通省京浜河川事務所】 <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

【世田谷区】 <http://www.city.setagaya.tokyo.jp/index.shtml>

【お問い合わせ先】

国土交通省京浜河川事務所 調査課  
TEL:045-503-4008 FAX:045-503-4058